

## いなむら市長の「い～なこの街 尼崎」 12月

テーマ:就任2年を経て、3年目に向かう

DJ(林)

いなむら市長の「い～なこの街 尼崎」。月に1度、市長にご出演いただくこのコーナー。稲村市長、今回もよろしくお願いいたします。

市長

はい。よろしくお願いいたします。

DJ(林)

さて、今日は、クリスマスですね。アルカイク広場のイルミネーションとっても素敵ですけども、ご覧になられましたか？

市長

はい。私、点灯式にも、出席させていただきまして、本当にきれいでうれしいです。

DJ(林)

本当にきれいに輝いています。さて、市長に就任されて、3回目のクリスマスを迎えられたことになりすけれども、これまでの市長として過ごされた日々はいかがでしたか？

市長

はい。私はちょうど12月が就任ですので、今で折り返しを迎える丸2年というあたりなんですけれども、1年目はもうまさに無我夢中という感じでした。就任してすぐに議会があったんですけども、その質問の答弁を作るのも本当にもう徹夜、徹夜で。本当に最初は大変だなあと思ったんですけども、2年目になりまして少し落ち着いて、何もかも初めてだった1年目に比べると、全体を見渡せるようになってきたかなという感じがしています。また、今年度は大幅に組織も改正をしまして、私なりに色々なことをやる体制も整えて頑張ってきたかなというふうに思います。

DJ(林)

あらためて大変な日々だったと思いますが、それは、公約実現の日々でもあったわけですね。この2年間で実現できたことをいくつか教えていただけますか。

市長

はい。そうですね、方向性としてちゃんと前に進んでいるなと思うことはたくさんあるんですけども、なかなか市民の皆さんに、目に見える形には至っていないものも正直多いと思っています。けれども、私、就任直後に、政策を担当する専門の組織を作りまして、やっぱり私がトップダウンで進めたいこと、そして現場の方で持っている課題、これをしっかりと突き合わせて、お互いにこう重点的に取り組むことを明確にして、ここまで進んでくることのできたかなというふうに思っています。

私自身は、市政運営の柱として3つ掲げてきました。

1つは「コンパクトで持続可能なまち」、これに沿う形で、「尼崎版グリーンニューディール」、これは環境と産業をしっかりと共生させる、ウィンアンドウィンの関係にして、地域経済の活性化を図ろうという政策、取組みなんですけれども、これに沿って産業団体の皆さんとも連携を深めて、電気自動車の普及の取組みですとか、もちろん太陽光をはじめとする自然エネルギーの普及、そういった企画を考えているんですけれども、今年度は特に、国の内閣府の方で募集をしている「環境モデル都市」というのに尼崎市も応募をしまして、こういったことにチャレンジをしていく、そして、新しい尼崎の、この環境で頑張っていくんだということをもっとPRしていきたいということにも頑張ってお取組みを進めました。

そして2つ目の柱、「信頼と分かち合いのまちづくり」、これ今、無縁社会なんて言われていますよね、でも孤立から自立した生活って絶対生まれえないと思うんですね、やっぱり私たち一人では生きていなくて、色んなつながりの中で、支えあう中で一人一人も色々な意味で自立していける、そういったことを強く思っています、一つはそういう市民の自立を支えるための健康増進、生活習慣病の予防にこれまで以上に取り組んできましたし、あと今、生活保護の受給者が増えているっていうのも問題になっていますよね。今はそういった色々な課題を抱えているご家庭のお子さんに学習機会をもっともってほしいというような勉強会の学習支援ですとか、あと、その本当は体も健康で頑張れるんだけどなという人達にボランティア活動なんかをしてもらって、もう一度、居場所や出番を持ってもらう、そういったような自立支援の取組みにも力を入れてきました。

そして、3つ目の柱が「市民自治のまちづくり」なんですけれども、私自身、車座集会という市民の皆さんとの直接対話を重視もしてきましたし、あとですね、今年は市民の皆さんに尼崎市がやっている仕事をたな卸ししてもらおうという、事務事業の点検をやってもらったんですけれども、その公開でのたな卸しということもやっていただきまして、そういうことを踏まえてまた、来年度の取組みを見直して、活かしていくというようなこともやっています。それとですね、これも新しく作った部署の一つで、シティプロモーションを進めていこうという部があるんですけれども、何といたっても尼崎の街のイメージアップ、そして、子ども達の夢をしっかり応援していく、そういう街づくりということで、チャレンジ夢大使の任命ですとか、学校の教育の中に、色々な企業の方や技術者の方に来てもらって子ども達にそういったものを披露して伝えていただくような取組み、こんなことも進めてきました。

## DJ(林)

今うかがったことは、ほんの一部だと思いますが、就任2年目で随分、稲村カラーが出てきたのではないかと思います。それは、4月に大きく組織改正をされ、シティプロモーション推進部ができたことも影響しているのでしょうか。

## 市長

はい。先ほども少しお話したこのシティプロモーション推進部なんですけれども、やっぱり街のイメージアップをもっともっと、あの力を入れて欲しいという市民の方の声をたくさんいただいたんです。で、そういったイメージアップを進めていくためには、まず、私達一人一人が尼崎の魅力をもっとよく知ること、そしてそれをしっかり味わって、ついつい周りの人達にも自慢しちゃう、話しちゃう、という状態にならないといけないと思うんですね。そういったことをしっかりひっくるめてやっていく、

そして、私達市役所もそういった街の魅力を作るための政策をしっかりと取り組んでいって、それをやっぱり中身とセットでうまくPRをしていくというような取り組みをしていこうということで、このシティプロモーションに取り組んでいます。その一環として、例えば、皆さんのご自宅にお届けしています市報尼崎に「あ・ま・ら・ぶ倶楽部」、この「あ・ま・ら・ぶ」というのは尼崎ラブ、尼崎を好きな、大好きな人を増やそうということなのですが、こういう尼崎大好きで色んな活動をしている方を紹介する「あ・ま・ら・ぶ倶楽部」というコーナーですとか、お子さんの写真を送っていただいて掲載する「あまっアルバム」、こういったコーナーも作って、今、皆さんに楽しんでいただいています。また、やっぱり自分達の街にこう自信を持って、他からもやっぱりほめてもらおうとね、やっぱりうれしいですよ、そういった意味で、今年はロンドンオリンピックがありましたけれども、やり投げで頑張ってくれたディーン元気選手の応援をみんなで行ったりとか、あと、大相撲で活躍してくれている栃乃若関も尼崎市出身なんですね。そういったこともしっかりと取り上げて、皆さんと一緒に応援する中で、私達ももっともっと街を好きになりたいなと思ったりしています。

**DJ(林)**

そうですね。シティプロモーション推進部では、映画やドラマの撮影誘致もされていますよね。

**市長**

はい。そうなんです。撮影の誘致やその支援をやっていく団体を「フィルムコミッション」と言うんですけども、尼崎市では、「ひょうごロケ支援 Net」と連携をして、映画やドラマのロケ誘致や支援を行っています。

**DJ(林)**

今までに、何本ぐらいのドラマや映画の撮影が尼崎で行われたんですか。

**市長**

はい。映画が1本、ドラマが2本、情報番組は10本もあります。映画はあの、「ALWAYS 三丁目の夕日」ですね。

**DJ(林)**

「ALWAYS 三丁目の夕日」は、なんかこうほのぼのとしてね、私も大好きな映画の一つです。

**市長**

はい。私が就任したすぐの3月に、文化財収蔵庫で撮影がありまして、私も現場にお邪魔したんですよ。ちょうど、森山未来さんがレトロなタクシーに乗り込むシーンを撮影されていました。皆さんね、寒そうだったんですけども、はい、なんか映画だと夏の場面だったんですかね、でもやっぱりプロだなと思いました。今年の1月に上映をされまして、尼崎で撮影があったことを知った多くのお客様が、このロケ地になった文化財収蔵庫を今も訪れてくださっています。

**DJ(林)**

そうですね。フィルムコミッションの効果ですね。

**市長**

あるがままの街の姿を映像で紹介することで、尼崎のことをあまり知らない人にも、新しく興味を持ってもらえます。また、市民の皆様にとっては、普段見慣れている風景が映像化されることで、我が街を振り返る、見つめ直すきっかけにもなると思います。

**DJ(林)**

これからも、ドラマや映画で尼崎の風景を見ることができるのは、本当に楽しみです。

**市長**

はい。実は、先週、市内各所でドラマの撮影が行われていたんです。吉本興業創立 100 周年と笑福亭 仁鶴さん入門 50 周年を記念した、関西テレビのお正月ドラマ『だんらん』というドラマなんですけれども、ごく普通の家庭の中にある、小さな悩みを解決していく姿を描いたハートフルドラマなんです。見慣れた尼崎の風景が物語の背景として映し出されるので、皆さんぜひお楽しみにしてください。

**DJ(林)**

はい。それは楽しみですね。

**市長**

放送は 2013 年、年が明けて 1 月 4 日の予定です。

**DJ(林)**

はい。忘れないように見ます。さて、また新しい 1 年が始まりますが、市長就任 3 年目は、どんな年にされたいですか。

**市長**

はい。4 年間の 1 期目の任期の折り返し、これから後半戦になっていきます。尼崎市は、来年度から今後 10 年間を見据えた新しい街づくりの総合計画、そして新しい行財政改革の計画がスタートするとても大事な年になります。これまでの 2 年間もその精神を先取りした形で色々取り組んできましたけれども、それをしっかりと形にして市民の皆さんにも実感、手ごたえを感じていただけたところまで持っていきたいなと思っておりますので、しっかり頑張っていきたいと思っています。

**DJ(林)**

これからの活躍に期待しております。

**市長**

はい。ありがとうございます。